

【注意点1】

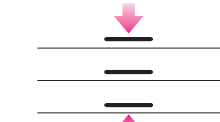


スウィープ時のピックは平行&真っ直ぐ動かせ!

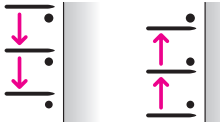
スウィープ・ピッキングは、基本的に手首を固定して、弦に対してピックを平行気味に当てながらピッキングしよう(図1)。また、ダウンではピックと親指で弦を押すように、アップではピックと人差し指で階段を登っていくように弾くとよい。ピックの軌道が斜めになると、音量が小さくなることもあるので気をつけよう。

図1 スウィープ・ピッキングの角度

弦に対して平行のパターン

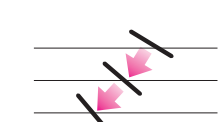


アタックが強く、クリアな音を得られる。ピックがズレることも少ない。



アタック音を得られ、通常のピッキングと同じくらいの音量になる。

弦に対して斜めのパターン



弦をこすってしまうので、ノイズが出る。さらに、ピッキングが崩れることもある。



弦をこする感じになり、アタック感のないモコモコしたサウンドになる。

【注意点2】



自分にピッタリ合うミュート場所を探すべし!

スウィープ・ピッキングでは、弦移動した前の音を消音するために、順序よくミュートを掛けていく必要がある。ミュートは、基本的に右手の①小指側、②手首側、③親指側の、いずれかの場所で弦に触れて行なおう(図2)。手のサイズによって、ミュートが掛けやすい場所は変わるので、自分に合ったポイントを探しておいてほしい。

図2 スウィープ時の右手のミュート箇所

① 小指側



② 手首側



③ 親指側



手のサイズや手首の使い方によって、最適なミュート・ポイントは変わってくる。

【注意点3】



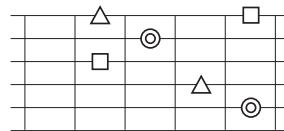
3rdの違いを意識しながらポジションを覚えよう

メイン・フレーズを弾く時には、小指から始まる5弦ルートのコード・ポジションを頭に入れておくことが大切だ(図3)。メジャーとマイナーでは、3rdの位置が異なるが、3rdを薬指で押さえるのがメジャー、中指で押さえるのがマイナーと覚えておくとよい。まずはゆっくり演奏しながら、ポジションを身体に入れていこう。

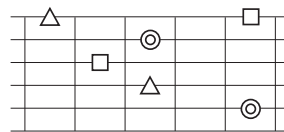
図3 5弦ルートのメジャー&マイナー・トライアド

◎ルート音 △3rd □5th

メジャー・トライアド
(メイン・フレーズ2&4小節目)



マイナー・トライアド
(メイン・フレーズ1&3小節目)



【順序よくミュートを掛けていく】 スウィープを弾き慣れていない人は、発音する弦にもミュートを強く掛けてしまうことがある。これでは、「ミュート・ピッキング奏法」になってしまうので注意!